

つなまち

NO.193
TSUNAN-TOWN
2014年4月24日発行

春 ——笑顔あふれる ショッピング——

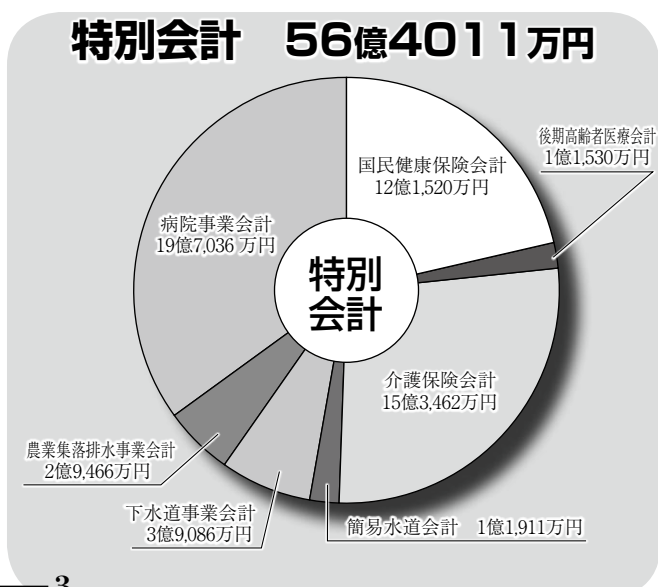
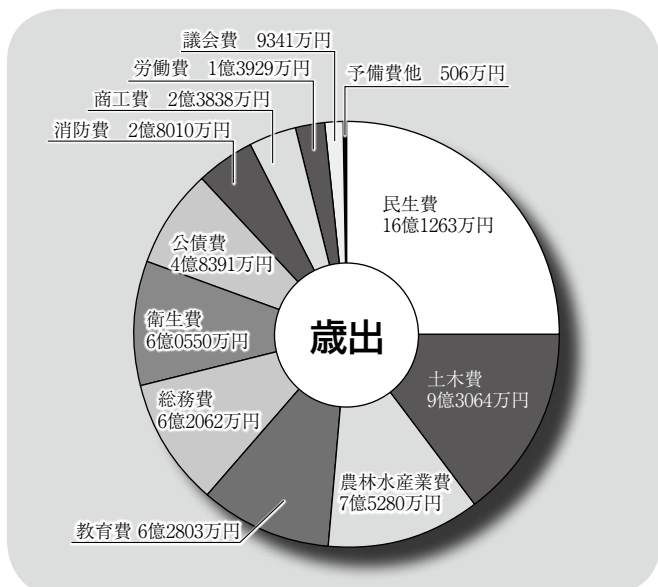
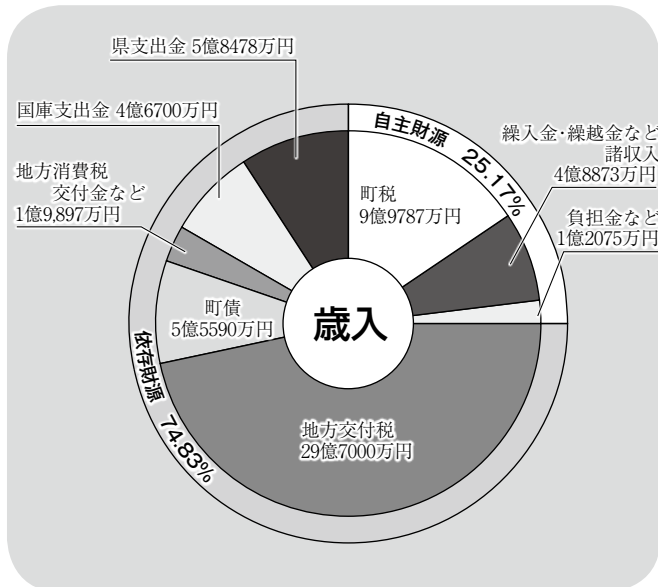


3月定例会 3/4~3/20

町長施政方針	②
平成26年度 一般会計・特別会計予算	③
補正予算・条例改正	④~⑤
総括質疑 10人	⑥
各会計討論	⑦~⑨
一般質問	⑩~⑮
委員会レポート	⑯~⑰
町民登場 この人に会いました・編集後記	⑱

平成26年度予算

「一般会計」63億8400万円



重点施策の項目

- ★印は新規事業
- ★保育事業 (ひまわり保育園改修工事) 1,574万円
駐車場の造成及び未満児童の入所棟を増改築する。
 - 障がい者介護給付費 2億0,056万円
施設入所給付費、就労継続支援給付費の拡充。
 - ★土木費
 - 住宅改修事業補助 2,000万円
住宅改修修費 (上限20万円を追加、高齢者・子育て世代に上乘せ)
 - 町道改良舗装事業 1億2,700万円
道路の改良舗装、側溝、水路工事等。
 - 除雪機械購入 4,295万円
タイヤドーザー・ロータリー除雪車購入。
 - 町営住宅建設 2億1,189万円
美雪町営住宅8戸分を建設移転する。
 - ★農林水産業費
 - ★体験宿泊施設建設 3,482万円
結束集落に貸農園及び宿泊施設を建設する。
 - 認証米制度補助 1,000万円
認証米栽培基準該当米に補助する。
 - 小水力発電事業 4,320万円
農業用導水路を活用し発電設備を設置する。
 - ★教育費
 - ★学校閉校事業 220万円
外丸・中津小学校の閉校記念事業費に当てる。
 - ★今井城址整備 370万円
測量委託する。
 - ★文化センター改修工事 1,600万円
冷温水発生機等更新する。
 - 特別支援教育振興事業 4,941万円
小中学校の特別な支援が必要な児童生徒介助員、学習指導員の配置。
 - ★総務費
 - 地域おこし協力隊設置事業 448万円
都市住民の受け入れ、地域おこし協力隊支援等。
 - ★衛生費
 - ★子ども医療費助成 2,321万円
通院入院ともに、満18歳到達後の3月31日まで延長する。
 - 健康増進施設管理運営事業 3,626万円
クアハウス津南の施設改修を図る。
 - ★商工費
 - ★観光客誘致宣伝事業 1,687万円
見玉駐車場の増設工事



将来を担う子どもたち、新設「子育て教育班」で体制強化

町長施政方針

「キーワードは育」

私は、平成22年7月に町長就任以来、強くてどこよりも優しい町づくりを政策の基本とし、先人たちが築かれた基盤を耕し、新しい種を蒔くという気持ちでこの4年間、町政を担当してまいりました。2期目に向け、町民の皆様から引き続き町政の舵取りをご付託いただけるなら、この蒔いた種が芽を出し、その芽を津南の明日に向けて誤りなく育てることに全力を尽くしてまいりたいと考えております。

私は新年度からの施策のキーワードを「育」といたしました。「教育」をはじめ、「子育て」、「地域力の育成」、「若者の育成」、「産業の育成」、「職員の育成」等であります。

平成26年度の一般会計総額は、対前年比2.88%減の63億8400万円となりました。

特別会計と合わせた予算総額は、対前年比1.62%減の120億2411万円であり、地方交付税につきましては、29億7000万円を計上いたしました。

次に施策の概要について申し上げます。新年度は保健医療福祉計画、障害福祉計画、介護保険事業計画の見直しの年度であります。町民の福祉向上を図るべく平成27年度以降の計画を策定してまいります。

子育て支援・少子化対策の関係では、子どもの医療費助成については、高校卒業の年齢まで助成を拡大し、保護者の負担軽減を図ってまいります。

国民健康保険料につきましては、一般会計からの繰り入れなどの財政措置を講じながら、引き続き保険料の激変緩和を行いながら、負担すべき保険料に近づけていくこととしております。

次に農林関係を申し上げます。平成26年度からの農政を取り巻く情勢は、米の所得補償額の減額および廃止、生産数量割当ての国の関与の廃止、TTPの農業への影響など激動の転換期を迎えており、津南町農業の生き残り策を全力で講じていかなければなりません。

また、建設が進んでおります、クリアーウォーター津南の水工場は本年春からの稼働を予定し、5月の連休ごろには「津南の天然水」というナチュラルミネラルウォーターが全国展開される予定であります。

新年度より、教育委員会の組織の中に「子育て教育班」を新設し、保育園



美雪町住宅の建築

と小学校の連携を一層深めてまいります。

文化財関係では、「苗場山麓ジオパーク」の認定に向け、栄村との連携を一層深めてまいります。最後に病院事業につきましては、町民の健康を積極的に守っていくために、生活習慣病の管理や終末期医療にも配慮するなど地域に信頼され、安心して利用しやすい病院を目指して、より一層の努力をしてまいります。

以上、平成26年度を迎えるにあたり、私の基本的な考え方と施策の概要を申し上げます。

新年度も町民による町民のための行政を目指し、全職員の創意を結集して挑戦してまいりたいと決意致しておりますので、議員をはじめ町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年第1回町議会定例会が3月4日から20日会期末で開催されました。初日と2日目に町長施政方針と11人が一般質問を行い、新農政問題や介護、子育て支援など活発な議論が行われました。会期中で合同常任委員会が開かれ、26年度予算案について、審査を行いました。町長施政方針と平成26年度予算案について総括質疑を10人が行い、最終日は、平成26年度予算案に対する各討論を10人が行い、条例改正、平成26年度予算案を可決、2件の請願を不採択とし、第1回定例会を閉会しました。

条例改正 ピックアップ 条例改正

その1 保育園等子育てに関する事項が、福祉保健課から教育委員会に変更になったことによる条例の改正（生まれてから就業までの一貫した子育て支援体制へと機構改革されました）
（議案第1号～議案第5号）

その2 消費税が5%から8%に増税されることによる条例の改正
（議案第6号～議案第9号）

桑原洋子議員の反対討論

今回の条例改正は、消費税増税に伴う改正であり町民への負担増には反対です。大増税により町民のくらし経済、町財政、病院経営をも圧迫してしまう。経済的弱者を踏みつけにする不公平税制であり、条例改正には反対。

その3 中津川運動公園の利用料改正
（議案第10号）

その4 「なじよもん」の入館料が中学生以下無料
（議案第11号）

その5 子どもの医療費助成が18歳到達後の3月31日までに延長されました。
（議案第14号）

その6 津南町農業委員会の選挙で選ばれる委員が14名から12名になりました。（委員定数は18名で変更なし）
（議案第39号）



議案番号	条 例	賛成	反対
1号	津南町課設置条例の改正	全員	
2号	津南町職員定数条例の改正	全員	
3号	津南町立保育所条例の改正	全員	
4号	津南町一時保育事業に関する条例の改正	全員	
5号	津南町子育て支援センター条例の改正	全員	
6号	津南町農業集落排水施設条例の改正	13	2
7号	津南町簡易水道及び小規模水道条例の改正	13	2
8号	津南町下水道条例の改正	13	2
9号	津南町温泉給湯条例の改正	13	2
10号	津南町屋外体育施設の設置及び管理等に関する条例の改正	全員	
11号	農と縄文の体験実習館の設置及び管理に関する条例の改正	全員	
12号	津南町農業廃棄物処理場設置条例の改正	全員	
13号	津南町特別職で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正	全員	
14号	津南町子どもの医療費助成に関する条例の改正	全員	
15号	津南町老人医療費助成に関する条例の改正	13	2
16号	津南町子ども・子育て会議条例の制定	全員	
17号	津南町社会教育委員に関する条例の制定	全員	
38号	津南町国民健康保険条例の改正	全員	
39号	津南町農業委員会の選挙による委員定数条例の改正	全員	
40号	津南町農業廃棄物処理場設置条例の改正	全員	
41号	津南町営住宅条例の改正	全員	

補正予算

1. 一般会計補正

歳入歳出総額 69億8,453万円
歳入歳出補正額 1億8685万円

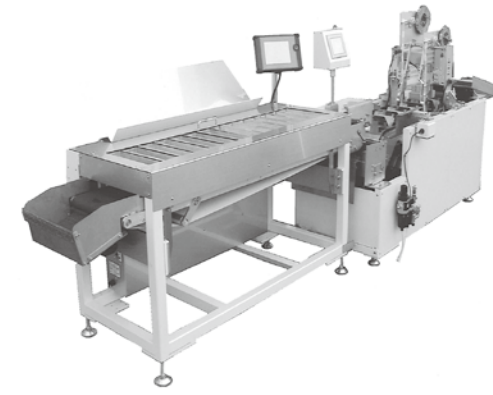
主な歳入増
地方交付税（普通・特別） 4億1,613万円
地域の元氣臨時交付金 1,904万円
ふるさと支援まちづくり寄付金 197万円
農山村活性化プロジェクト支援交付金（専決処分） 3,218万円

主な歳入減
地域雇用創造事業減 △2,270万円
町債事業減 △8,710万円

主な歳出増
衛生費 津南病院補助金増 2億1,632万円
農業振興費 小水力発電実施設計・体験宿泊施

設計委託料（専決処分） 1,482万円
アスパラガス選別機・結束機（専決処分） 3,472万円

主な歳出減
民生費 障害福祉扶助費減 △2,492万円
農林水産業費 農業費農地費減 △2,055万円
土木費 下水道費減 △1,951万円
住宅建設費減 △2,080万円
消防費 防災行政無線費減 △1,546万円



アスパラガス結束機

特別会計

●国民健康保険特別会計
補正額増 101万円
総額 12億6,304万円
（主な内容）一般事業ソフト購入増

●農業集落排水事業特別会計
補正額減 △5,530万円
総額 3億4,414万円
（主な内容）施設建設工事減



みぞれの中行われたサケの稚魚放流

請願



賛否分かれる秘密保護法

請願不採択
○「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める請願は、総文委員会審査で不採択（5対2）本会議で不採択（11対4）となりました。
○集团的自衛権行使容認の「解釈改憲」に反対する請願は、総文委員会審査で不採択（4対3）本会議で不採択（9対6）となりました。

総括質疑

若者の育成、職員のスキルアップとは

根津勝幸

問 施政方針の中で、キーワード「育」について「若者の育成」「職員の育成」また「産官学の連携」において、「町職員のスキルアップにも新たな可能性を」とはどういうことか。

町長 施政方針の中では町政の方向性、理念について述べている。若者の育成について、地域づくりには若者の参加がとても重要であり、その仕組みづくりを始めたい。その為には私自身が積極的に出向くことや、町民の皆様からも積極的に町内外の会合などに参加してもらいたい。職員の育成については、県立大学の学生、学識経験者と町の抱える課題について議論、意見交換をしてほしい。

旧上郷中施設の改修は

村山道明

問 旧上郷中を含めた、5施設について、特に年頭挨拶からは今年の上郷中の改修をしたいと明言している。一方施政方針では、一例として

重、三重に個人情報漏えい対策を考えている。

若者定住の生活環境は

中山 弘

問 人口増加に安価な住居や生活環境は欠かせない。嫁婿対策は国内だけではなく海外との交流は大事であるが。

町長 核家族化や高齢者対策、空家利用を考慮しながら今少しの検討が必要である。若者に出会いの場を作るのは一つの要因である。海外から多くの来町者により世界の方々とパートナーだけでなく、国内外を通じての交流や施設が出来、「若い方の集える場所が出来ればいいなあ」と考えている。

各会計の 一般会計の 討論

反対 桑原 洋子 討論

一般会計予算では、子どもの医療費助成を入院通院とも高校卒業の年齢まで拡大し、保護者の負担軽減を図ったこと、住宅改修補助事業では、

上郷中改修を考えると述べた。年頭挨拶から方針が変わったと考えられるがその真意と、上郷中改修関連予算は今年度中に補正提案するのかどうか問う。

町長 今後ある程度ゲル化し構想がまとまった段階で、空き校舎・空き保育園活用検討委員会に説明する。予算は、構想がまとまり、設計が出来た段階で補助金、起債の見通しをつけた上で補正予算等で対応していきたい。

苗場山麓開発畑の活用と産地化は

草津 進

問 アスパラガスの面積拡大、新規定植での産地化をどう図っていくのか。

町長 アスパラガスの産地化対策は、労働時間の三分の一を占める選別結束作業の機械化による作業時間の軽減である。また、津南産は甘くて柔らかいという、産地としての有利性からアスパラガスの産地化対策を打ち出した。面積拡大が進むと共に、共同選果による単価アップにも期待している。今後、新たな販路の開拓も含めてアスパラガスの産地化形成を進めていく。

歳入の確保策を問う

桑原 悠

問 歳入予算の構成比は、その年の国県事業の内容によっても変わる

高齢者のいる世帯、子育て世帯への補助金の上乗せをし、拡充されたことなどは評価すべき点である。しかしT P P交渉では、町民の命や健康、くらしをも脅かす交渉であり、撤退すべきと思うが、町長は交渉を肯定する発言をしている。T P P交渉との関連が深い「新農政改革」は、もともと差別、選別の農政改革であり、町はふるいの目を細かくし、兼業農家など多様な農家を守ろうとする姿勢は評価できるが、抜本的な解決にはならない。原発と再生可能エネルギーでは国任せである。再生可能エネルギーは新しく産業を生み出すものであり、町は積極的に取り組むべきだ。

消費税増税については、町財政、病院会計を更に圧迫する。町民のくらしへの影響や、商売している人は「価格転嫁できない、やっつけていけない」と訴えている。それを町長は、「増税分は適正に転嫁することで実効の確保を強く願う」というにとどまった。町民のくらしを守る最前線において、国の言いなりではなく悪政からの防波堤になり、町民をしっかり守っていただくことを願う反対討論とする。

賛成 恩田 稔 討論

26年度予算は前年比1億8千万円のマイナス予算ではあるが、繰越明許費等も含めると、町税に直結する

が、自主財源が25.2%、依存財源が74.8%になった。歳入確保の具休策、特に自主財源の50%以上を占める固定資産税の確保策に対する見解を問う。

町長 当初予算案の通り、建物の異動が税額の変動に大きく関わっている。また償却資産は、電力各社の設備投資の増減により税収は大きく影響を受ける。

税確保のためには、新築家屋や工場の誘致、企業設備の投資が最も効果がある。国の景気対策が地方に波及し、企業の設備投資が増えることを期待する。

保育環境整備が進まないが

石田タマエ

問 子育て支援は、経済面では充実されつつあるが、女性の就労支援の面からの保育環境整備の進展が見られない。平成24年度の「保育園等のあるべき姿検討委員会」の設置から検討が続いているが、平成26年度当初に於いても方向性が示されず、この間、「検討会において検討中」だけである。働く女性にとっては大きな課題であるが、今後はこの様に進めていくのか。

町長 答申が出たが、予算編成に間に合わなかった。今年度は実効性のあるものにしていく。緊



事業費ベースは前年とほぼ横ばいと言うことであり、評価をする。私は、人口減少の中にあっても、自主財源の確保が最優先されるべきものだと思っている。町内に資金が循環し、再生産に結び付く経済対策は将来への投資でもあり、少子高齢化や過疎化、若者の定住など、中長期的に見れば、今一番必要な施策ではないかと思う。特に観光、交流人口の拡大について、秋山郷を前面に出し、見玉地区に拠点となるべき施設整備は、ジオパークや雪国観光圏のブランド観光地事業に貢献できるものと大変期待をしている。又、新潟県立大学との連携による人材育成、アスパラガスの産地化を積極的に進める為の支援策、源内山小水力発電、胎児から就労まで、切れ目のない子育て支援を目指す、「子育て教育班」の新設等、時代に即した積極的な姿勢であると考えている。しかし、今後は特別会計への繰出し金も含め、歳出の削減も相当考えなければならぬのではないかと思う。硬直した補助金を見直し、成長が見込まれる団体や事業に支援が必要である。財源確保の厳しい中、あらゆる努力をされた予算として受け止め、評価し要望を添えての賛成討論とする。

賛成 石田タマエ 討論

予算総額は、対前年比2.88%の減額であるが、財政調整基金等の繰

急を要する事項については、補正も考えながら進めていく。

津南町認証米の支援は継続すべき

大平謙一

問 町長は認証米への財政支援の1年延長を決めたが、まだ定着しておらず数年の延長をすべきと思う。うまい米作りへの支援や研究にも財政支援が必要と思うがどうか。

町長 認証米の財政支援は津南米の高品質化と差別化を図るための政策誘導であり26年度限りと考えている。うまい米作りによい考えがあれば積極的に支援する。

振興課長 うまい米作りに支援を要請された事もないし町が取り上げるような研究をしているとは聞いてない。

社会保障・税番号制度は必要か

藤ノ木浩子

問 マイナンバー法の成立によりそのシステム構築予算が盛り込まれた。税と社会保障の個人情報を一括管理がねらいだが、その必要性をどう考えているのか。プライバシーの漏えいなど危惧されるが。

町長 社会保障給付や税金申告などの手続きの簡素化や医療、年金、介護の個人情報結びつけることができ、行政コスト削減が期待できる。

実態把握で公平な社会保障給付に繋がるなど導入の必要性は高い。二

入額を対前年比32.14%減に抑えたことは大きく評価する。福祉施策では、未満児対応としてのひまわり保育園の増設は、女性の就労支援を充実し、今後の地域経済に貢献できると確信する。又、子ども医療費の助成を18歳まで拡充したことや、妊産婦医療費、不妊治療費の助成継続は、子どもを産み育てやすい環境の更なる充実である。

観光面では、「苗場山麓ジオパーク」として長い歴史の中で育まれた津南の自然が日本の津南、世界の津南として、大きく扉を開こうとしている。

教育振興では、切れ目のない子育て支援を目指しての機構改革は、津南の子育てに期待するものである。

農業政策では、「どこよりも誇れる米作り、選ばれる米作り」を目指した津南認証米制度を、1年間延長することで栽培基盤がより強固なものへと期待する。又、廃作傾向にあったアスパラガスの労働力軽減策や、増反支援は、津南産のブランド化へと大きく前進する。本年春から「津南の天然水」が全国販売されることに併せて、安全・安心の津南産農産物の販路開拓を期待する。

最後に、3割自治を目指した自主財源確保に更に努力することを期待して、本予算の賛成討論とする。

国民健康保険特別会計

反対 藤ノ木浩子 討論

反対の理由として1つは国保の広域化に向け保険料の急激な上昇をさけるため保険料を値上げし広域化にそなえるという姿勢である。国保の保険者を市町村から都道府県に移管する理由に、市町村間の保険料負担の格差是正があげられている。県下でも安い保険料の我が町は、県内の平均額をだそうとすれば保険料が引きあがるのは当然のこととしてい。広域化はそれだけで加入者にとってメリットはない。国保加入者は自営業、農業者、年金生活者、非正規労働者だ。厚労省の保険実態調査では無職の方が40・8%非正規雇用35・3%と多い。加入者は所得水準が低いと言える。当町も同様ではないか。また滞納額も町税について多い現状である。国保の広域化では町民の暮らしは守れない。

2つ目は国保は適切な国庫負担なしには成り立たない制度である。医療費抑制政策により国庫支出金の割合は削減され続けてきた。昨年も定率国庫負担割合が引き下げられている。国庫負担割合を改善増額へ転換しない限り国保加入者と自治体負担のしくみは変わらない。何故国保財源が厳しくなってきたのか、広

域化は社会保障としての医療保険となるのか住民が払える国保料なのか追求、分析し判断願いたい。

賛成 村山道明 討論

年々増え続ける医療費の歯止めには、おのずと限界がある。平成21年度以降、保険料を県下最低水準に維持してきたことは、十分評価される。最短で平成29年度には、県内一律の保険料となりその水準が、急激に上昇することが予想されることから対応として、平成29年度までに保険料を一定水準まで、1人当り毎年定額引き上げるとしている。本年度予算ではどうか、給付費等の直近の伸び見込みを考慮すること。また、保険料の激変緩和を行なうとする施政方針を踏まえて、一般会計繰入（赤字繰入）を対昨年度減とし、財政基金繰入を増額することで、値上げ幅を配慮したことが伺える。

平成24年度策定計画では、医療分について毎年6千円を上げるとしたが、今年度は、3千円減や後期分・介護分も上げ幅を減にした結果は町民に理解して頂けると考える。

また、人間ドック、特定健康診査、水中運動・健骨体操などの事業は、高齢者の健康促進によって医療・介護費の低減、削減につながる確信している。今後も国保運営の為最大限の努力を期待し、賛成とする。



敬意と感謝を申し上げる。

26年度病院事業会計だが、病院における医師、看護師不足は都会、田舎にかかわらず充足されていない。当町病院も準夜があり、夜勤があり看護師の苦勞のみならず、家族の支えがあつてこそ病院で働け、私たちが世話になることが出来る。

津南病院は町民にとって安心の館である。一般会計からの運営費の繰り入れは町民一人が年間1万5千円の安心料として受けることにより、私たち一人ひとりと家族の安心を守っているものである。

勤務表作成ソフトの導入により看護師の苦勞が少しでも軽減され、新しい院長を迎い入れ、病院事業が円滑にいくことを期待し平成26年度津南病院の事業会計に賛成する。

賛成 村山道明 討論

病院の果たすべき役割として、外来・入院医療等を提供するとともに、「町民の命の安全・安心確保」を担っ



介護保険特別会計

反対 藤ノ木浩子 討論

26年度介護保険会計予算は前年度比280万円増の15億3460万円のうち介護予防サービス費が前年比825万円増の6800万円となり、要支援者のサービス費増が見込まれている。私が反対する理由として1つは特養入所待機者の問題である。依然、待機者数は575人と増え続けている。経管栄養の方の受け入れ先がないことも深刻である。施設整備と医療、福祉保健の連携で要介護者を支えるサービス体系の充実が求められている。2つ目は3年に1度見直される介護保険料と重い利用料負担の問題である。息子75歳と暮らすAさん99歳は年収35万円の年金から介護保険料6万円が天引きさ

れる。年金は削除され介護保険料は見直しのたびに増額でその負担の重さを実感する。介護療養病床に入院している母の入院費月12万円はとも払い続けられないと在宅介護を考える声も聴いている。3つ目に介護保険法が改正され、要支援の訪問介護、通所介護を保険給付からはずし町事業とする議論がすすめられている。社会保障の基本的な考えを自助・自立のための環境整備を規定しているが、町長はこれに異議をとめない。国は国民を自助に追い込みその先頭にたち介護保険制度の解体へとすすんでいる。保険あつて介護なしでは困る。だれでも安心して利用できる制度にすべきと考え反対とする。

賛成 石田タマエ 討論

年々増え続ける介護給付費は対前年度403万7千円の増額である。これに対して住民が納める保険料収入分は対前年比おおむね同額で推移しているが、今後は、国及び各自治体の負担増をはじめ、住民への保険料の値上げは否めない。

現在、新潟県の高齢化率は26・3%であり各市町村の介護保険料平均額は5634円である。

津南町は県の平均よりもはるかに高い高齢化率でありながら、介護保険料が平均よりも634円も低いと落についての質問が、相次いだ。人が居ない所に活気なし、この山間地域にとり必要な病院である。この度私自身も身にしみて感じたところである。母が、津南病院で検査を受け、結果、津南病院では無理なので、十日町病院との連携によって一命をとりとめた。50年間の歴史を振り返り26年度は将来のあり方を求めコンサルを受けるといふ予算編成である。早い段階で、調査での方向が出ることを望みたい。医師、看護師が不足のなか、津南病院長の新たな選任がスムーズに行われた。どこの病院でも医師、看護師不足が叫ばれている。この地域を取り巻く病院の位置づけが大きく変わってくる。厳しい現状をしっかりと見つめ、2人の若い看護師人材を確保されたと聞いた。事務長を始め、関係各位の努力に感謝と敬意を表し、少子高齢化が更に進むなかで、町民の安心安全を求め賛成討論とする。

賛成 草津進 討論

津南病院開設から50年が経過するなか、石川院長、村山副院長が定年を迎えられた。長年の労苦に感謝申し上げたい。人口減少に歯止めをかけるには、人が安全、かつ安心に生活が出来る住みやすい環境を作ることに当たっている。今議会でも限界集



病院特別会計

賛成 根津勝幸 討論

景気が上向くとその期待感を持ちながら、地方にも景気回復の春が来ることを願うところである。

平成15年に議会の壇上に立って以来、病院事務長が3人交代された。事務長がいかに大変か、病院事業がいかに大変か、失礼ながら頭髪が白くなる変わりざまを良く見てきた。



町は人口問題を優先に取り組み

町長：子育て支援は保護者負担軽減で

大平 謙一 議員

町長 予算が許せばできないことはないが、近隣町村に比べて安いとは考えてない。集落移転等は考えてないか。

町長 子育て支援は保護者負担軽減で

町長 町としては考えてない。国の政策を待っている。

町長 女性が育休を取っても復職を保障する企業に補助する考えはないか。

町長 津南のAパート代は割高であるが雪対策もあり無理もないと考える。若者向け住宅は検討しているが結論が出ていない。26年度予算では子育て世帯と高齢者世帯の住宅改修を優先し改修費補助をする。

町長 津南のAパート代は割高であるが雪対策もあり無理もないと考える。若者向け住宅は検討しているが結論が出ていない。26年度予算では子育て世帯と高齢者世帯の住宅改修を優先し改修費補助をする。

町長 津南のAパート代は割高であるが雪対策もあり無理もないと考える。若者向け住宅は検討しているが結論が出ていない。26年度予算では子育て世帯と高齢者世帯の住宅改修を優先し改修費補助をする。



子どもは地域の宝

町長 中間管理機構に対する職務が定まっていなくても農業者の農地を一元的に管理し、担い手への配分も必要と考えている。

町長 中間管理機構に対する職務が定まっていなくても農業者の農地を一元的に管理し、担い手への配分も必要と考えている。

町長 中間管理機構に対する職務が定まっていなくても農業者の農地を一元的に管理し、担い手への配分も必要と考えている。

町長 中間管理機構に対する職務が定まっていなくても農業者の農地を一元的に管理し、担い手への配分も必要と考えている。

町長 中間管理機構に対する職務が定まっていなくても農業者の農地を一元的に管理し、担い手への配分も必要と考えている。

町政を問う!!

● 一般質問 (11 議員)

1 風巻 光明 議員 (10 ページ)
1、集落自治組織の活性化を行政指導で
2、保育園の課題と保育行政の課題

2 大平 謙一 議員 (11 ページ)
1、人口対策

3 伊林 康男 議員 (11 ページ)
1、農業振興策
2、農工商連携組織の構築は

4 桑原 洋子 議員 (12 ページ)
1、TPP、農政改革による影響は
2、消費税アップで町財政、暮らしへの影響は

5 石田タマエ 議員 (12 ページ)
1、津南小学校の教育環境整備を
2、小中学校の木質化への取り組みを

6 中山 弘 議員 (13 ページ)
1、2020 年に向け観光と環境は
2、信濃川中流域水環境改善を

7 藤ノ木浩子 議員 (13 ページ)
1、社会保障制度改革
2、介護保険制度改革

8 吉野 徹 議員 (14 ページ)
1、限界集落への取り組みは
2、国道 405 号未開通部分の要請を

9 桑原 悠 議員 (14 ページ)
1、課題解決にスピードを持った取り組みを
2、出産祝い金に対する認識は

10 滝沢 茂光 議員 (15 ページ)
1、ニュー・グリーンピア津南への対応策は
2、ファームハイツは適切か

11 村山道明 議員 (15 ページ)
1、文化センター図書室の整備を
2、介護保険対策

農業の振興策を問う

町長：魅力ある産業として若者に認知

伊林 康男 議員



町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

町長 企業の農業参入という観点と企業が農作業の一部を受託するという観点は別のものであり、企業が農作業

集落自治組織の活性化を行政指導で

町長：可能な限り町として支援したい

風巻 光明 議員



町長 集落には歴史・文化・財産などいろいろある。集落が維持できなくなったなどの相談があれば、町として何ができるか追い求めたい。

町長 集落には歴史・文化・財産などいろいろある。集落が維持できなくなったなどの相談があれば、町として何ができるか追い求めたい。

町長 集落には歴史・文化・財産などいろいろある。集落が維持できなくなったなどの相談があれば、町として何ができるか追い求めたい。

町長 集落には歴史・文化・財産などいろいろある。集落が維持できなくなったなどの相談があれば、町として何ができるか追い求めたい。

町長 集落には歴史・文化・財産などいろいろある。集落が維持できなくなったなどの相談があれば、町として何ができるか追い求めたい。



「昭和中期過疎化で集団移転」旧美雪町住宅

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。



後継者育成で農産物の生産拡大

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。

町長 「気になる園児」の支援方法は保護者と相談し専門家の協力を得て状態に対応した保育が必要。また「未満児」の増加も含め、関係機関の協力を得て子育て支援に力を入れていく。



中山 弘 議員

2020年に向け観光と環境

町長：ブランド観光圏の認定を目指す



流れの少ない冬の信濃川

問 外国人観光客の接客対応と準備は。

町長 観光庁はインフラ整備に特例処置を講じる予定であり、ブランド観光地指定を目指した広域観光圏での外国人誘客を積極的に考える。

宮中ダム放流で環境改善を

問 宮中取水ダムの試験放流が5年目である。上流の津南町の対応を問う。

町長 信濃川中流域水環境改善検討委員会にて、過去3

問 外国人観光客の接客対応と準備は。

町長 観光庁はインフラ整備に特例処置を講じる予定であり、ブランド観光地指定を目指した広域観光圏での外国人誘客を積極的に考える。

問 JR東日本の発電取水量不正行為から6年経過した。回避魚一つとつてもおおいに我が町と関係があると思うがいかがか。

町長 鮭遡上調査では昨年より多く、清津川、志久見川で確認されており、稚魚放流の成果と思われる。又、信濃川河川整備計画でも治水、利水環境整備が提案されており、町の歴史文化も信濃川からの恩恵を受け今日までの生活が営まれて来た。



桑原 洋子 議員

TPP・農政改革で先が見えない

町長：兼業農家も守る

多様な農家にも価格保障を

消費税8%への影響額は

問 TPPは「与党公約」と「衆参農林水産委員会の決議」を踏まえ、重要5項目を守れないなら撤退しかない。急激な変化を伴う農政改革に農家から「先が見えない、不安だ」という声がある中で、どうなるか写真が見えてこない。

町長 農地集約できない兼業農家や多様な農家も大事にする必要があると考える。価格保障などは担い手農家に限られるが差別と考える。様々な農家にも必要と思うがいかか。又農地中間管理機構は県に1つとされる。農業委員会の果たしていた役割は大事だと思いが考えを問う。

町長 交渉はお互いがゆずり合い、又主張すべきはしあい、妥協する中で進めるもの。農政改革は、農地集約による担い手への大規模化も重要だが、農業を継続できる兼業農家など小規模農家等の農地を担い手に集約する考えはもってない。農地中間管理機構の業務は、地域事情が良くわかる農業委員会しかないと考えている。

問 消費税増税で町、病院財政への影響額はどうか。町内業者などは価格に転嫁できずに泣いているのが現状だ。産業界やくらしへ重くのしかかると思うが見解を問う。

町長 一般会計は4578万円、特別会計3144万円、病院は医療外で400万円。地方消費税増税分は470万円と推計する。産業では増税分を適正に転嫁することになっているのでその実効性の確保を強く願う。

問 消費増税で町、病院財政への影響額はどうか。町内業者などは価格に転嫁できずに泣いているのが現状だ。産業界やくらしへ重くのしかかると思うが見解を問う。

町長 一般会計は4578万円、特別会計3144万円、病院は医療外で400万円。地方消費税増税分は470万円と推計する。産業では増税分を適正に転嫁することになっているのでその実効性の確保を強く願う。



「オール津南」でTPP ごめん

他に苗場山麓償還金への利子補給について質問しました。

社会保障の自助自律を考える

町長：自助・互助・共助による支え重要だ



藤ノ木浩子 議員

問 社会保障制度改革プログラム法が成立し、基本的考えを「自助、自立のための環境整備」と規定。これは社会保障の向上及び増進を定めた憲法25条を踏みにじるもの。国民を自助に追い込むものではないか。

町長 高齢化に対し公的整備とあわせ、個人、家庭、地域ができることから取り組んでいかないと、現行制度が維持できなくなるという危機感から法整備されたと理解している。必ずしも公的支えを後退させるものでなくこれからが重要であり、2025年に向けた取り組みを今から進める必要があると思う。

問 介護保険制度改正への対応は

問 法改正で、要支援1、2の訪問介護と通所介護を保険から外し、市町村事業に丸投げするとしているがどう考えるか。

町長 市町村が要支援者のサービス提供を効率的に行



介護施設の感謝祭に歌声響く

他に原発に対する姿勢について質問しました。

問 社会保障制度改革プログラム法が成立し、基本的考えを「自助、自立のための環境整備」と規定。これは社会保障の向上及び増進を定めた憲法25条を踏みにじるもの。国民を自助に追い込むものではないか。

町長 高齢化に対し公的整備とあわせ、個人、家庭、地域ができることから取り組んでいかないと、現行制度が維持できなくなるという危機感から法整備されたと理解している。必ずしも公的支えを後退させるものでなくこれからが重要であり、2025年に向けた取り組みを今から進める必要があると思う。

問 介護保険制度改正への対応は

問 法改正で、要支援1、2の訪問介護と通所介護を保険から外し、市町村事業に丸投げするとしているがどう考えるか。

町長 市町村が要支援者のサービス提供を効率的に行

統合を節目に津南小学校の環境整備を

教育長：年次計画を立てて進める



石田タマエ 議員

津南小学校の環境は整っているか

問 平成27年度に津南・外丸・中津の小学校統合が決定しているが、受け入れる津南小学校は、スキークラブなどの課外活動ができる環境が整っているか。また、図書室や図工室の確保が充足されていないが、今後の対策を問う。

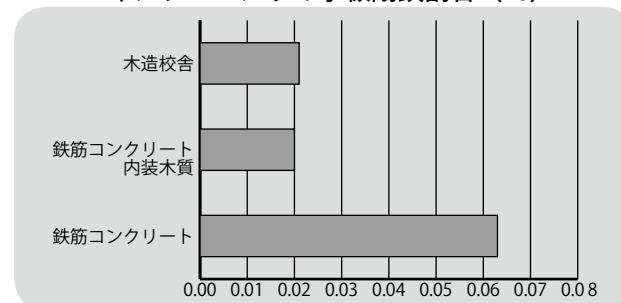
教育長 外丸小学校・中津小学校は地域の支援体制が整っている。そのパワーを津南小学校でも発揮できるように働きかける。また、支援員対応の介助員の増員をする。特別支援教室や図書室・図工室等を含めた増築を考えている。

問 町内小中学校の木質化の計画はあるか

問 文部省は、子どもたちの学ぶ場への木材利用を進めている。津南町では木質効果などのように評価し、今後取り組み計画があるかを問う。

教育長 昨年度先進地を視察してきて、是非津南町でも取り組みたいと考えている。津南小学校では屋根の改修と内装木質化を検討しているが

インフルエンザの学級閉鎖割合 (%)



国立教育政策研究所ホームページより

問 外丸・中津小の子ども達にとっては環境が後退する部分があるので、統合の節目に整備できないか。

教育長 優先順位は、保育園の整備が最優先なので学校の増築はその次と考える。

町長 必要性、緊急性を改めて認識した。できる限り事業を前倒しし、進めていくことを検討していく。

多額の資金を要するために、増築と併せて年次計画を立てて進めていく。



どうする、ニュー・グリーンピア津南の契約更新

町長：津南高原開発が最善と考えている

滝沢 茂光 議員

問 津南町では平成7年度事業で、農業後継者の育成に、**新規就農者技術習得施設の活用は適切か**

町長 様々な観点から総合的に判断し、津南町の現状において、その方に全面的にお任せするという思いには至らなかったということである。

問 新たな借り受け先として、申し出た方は、全面改修も無い、また求める賃借料にも応ずるとの好条件だとときく。どこがいけないのか町長の考えを問う。

町長 様々な観点から総合的に判断し、津南町の現状において、その方に全面的にお任せするという思いには至らなかったということである。



かつての賑わいを取り戻せるか

問 ニュー・グリーンピア津南の賃貸契約は27年9月末で切れるが、当初6千万円であった賃借料も3千万円、1千5百万円、更に本年は3百万円へと減額した。このままでは第2のマウンテンパークとなりかねない。

町長 は就任前は、ニュー・グリーンピア津南の顧問を務め、現在は貸し主となっており、私は老婆心ながら、決断の妨げとなる事を心配している。

問 405号線未開通部分の要請を

町長 当時と発電構成は異なっていると思うがダム調査はすべて終了しており有力の要素と思われる。国策にかかわる問題であるが現状を視野に入れて考える。

問 405号線未開通部分の要請を

町長 当時と発電構成は異なっていると思うがダム調査はすべて終了しており有力の要素と思われる。国策にかかわる問題であるが現状を視野に入れて考える。

問 地域の担い手として活躍する姿は頼もしい限りだ。3年の研修期間の住まいとあっては守られなければならぬ。空き家住宅の提供を積極的に進めるのが理想的と考えるが、町長の考えを問う。

町長 今後空き家などの斡旋を進め、早期に転居できるように努める。あわせて空き家対策につなげたい。



町民に夢と希望をもてる町づくりを

町長：現状を視野にいれ進めていく

吉野 徹 議員

問 町の3分の2が限界・準限界集落であり、自治機能が低下し、維持管理ができていない。町職員に夢と希望が持てる施策を願うが。

町長 公共事業の配分は限りがあるが、プライオリティを考えた中で改良促進を進めていきたい。

問 かつて中津川第一発電所上流に最大級の揚水発電計画がなされた。脱原発のなか地域活性化のためにも再度発電計画の実施の要請ができないか。

町長 当時と発電構成は異なっていると思うがダム調査はすべて終了しており有力の要素と思われる。国策にかかわる問題であるが現状を視野に入れて考える。



水力発電で小集落を生きかえらせる



問 町の3分の2が限界・準限界集落であり、自治機能が低下し、維持管理ができていない。町職員に夢と希望が持てる施策を願うが。

町長 公共事業の配分は限りがあるが、プライオリティを考えた中で改良促進を進めていきたい。

問 かつて中津川第一発電所上流に最大級の揚水発電計画がなされた。脱原発のなか地域活性化のためにも再度発電計画の実施の要請ができないか。

町長 当時と発電構成は異なっていると思うがダム調査はすべて終了しており有力の要素と思われる。国策にかかわる問題であるが現状を視野に入れて考える。

問 町の3分の2が限界・準限界集落であり、自治機能が低下し、維持管理ができていない。町職員に夢と希望が持てる施策を願うが。

町長 公共事業の配分は限りがあるが、プライオリティを考えた中で改良促進を進めていきたい。

文化センター図書室の整備を

町長：整備は必要と考える

村山 道明 議員

問 図書室は、児童生徒の知的活動を推進する役割や地域の大切なコミュニティの場として重要な施設であり、更に情報となるもの、興味・関心を引き立てるものが沢山ある。ネット情報は、いつも正確とは限らない。図書予算140万円あるが、今の図書室の本は、シリーズ編図書が多く専門書が少ない。また、室内に親子、友人同士の会話やパソコンも使用できるスペース（空間）が欲しいがどうか。

町長 子ども・児童図書館から子ども達が離れつつある現状である。提言の事については、来年度しっかり考えさせていただき、できれば次年度に繋がる構想なるものを汲み上げたいと思っている。

問 ミニ特養の計画は

町長 介護保険制度が改正された。介護サービスの充実等に重点がおかれ、サービス種類も多様化された。そのニーズに 대응するために施設整備が望まれるかがか。



図書の充実を

問 図書室は、児童生徒の知的活動を推進する役割や地域の大切なコミュニティの場として重要な施設であり、更に情報となるもの、興味・関心を引き立てるものが沢山ある。ネット情報は、いつも正確とは限らない。図書予算140万円あるが、今の図書室の本は、シリーズ編図書が多く専門書が少ない。また、室内に親子、友人同士の会話やパソコンも使用できるスペース（空間）が欲しいがどうか。

町長 子ども・児童図書館から子ども達が離れつつある現状である。提言の事については、来年度しっかり考えさせていただき、できれば次年度に繋がる構想なるものを汲み上げたいと思っている。

問 ミニ特養の計画は

町長 介護保険制度が改正された。介護サービスの充実等に重点がおかれ、サービス種類も多様化された。そのニーズに 대응するために施設整備が望まれるかがか。

問 室内改造を望む

町長 子ども・児童図書館から子ども達が離れつつある現状である。提言の事については、来年度しっかり考えさせていただき、できれば次年度に繋がる構想なるものを汲み上げたいと思っている。

問 ミニ特養の計画は

町長 介護保険制度が改正された。介護サービスの充実等に重点がおかれ、サービス種類も多様化された。そのニーズに 대응するために施設整備が望まれるかがか。

問 子育て支援体制とは

町長 子育て支援体制の整備に関する企画書中、いじめ項目など行政の仕組みが必要と記述されているが、どういうことか。

教育長 4月から、保育教育を一元的に所管する「子育て教育班」を新設することが具体策である。

積年の課題にスピードをもった解決を

町長：誠心誠意取り組む

桑原 悠 議員

問 町の人から、町長は1期目は慎重すぎたという声がよく聞かれる。積年の課題が山積した中で、難しい町政運営だと思いが、これからはスピード感をもった取り組みを期待するがどうか。

町長 町政運営には費用対効果、公平性、財源など色々な角度から慎重に判断してきたので、もう少しスピードにできないものかという声があるのだと思う。再度町民の付託をいただけるなら、引き続き誠心誠意取り組みたい。

問 出産祝い金に対する認識は

町長 県では人口自然減対策として、出産祝い金が検討されているが、子育て世代の町民は関心をもって見ていると聞く。晩婚化や金銭的な問題で、第3子以上のハードルが上がっている。色々な議論があるが、町長はどう考えるか。

町長 出産祝い金があることで、子どもを産む動機づけになるか確認は持てない。現金給付ではなく、今までの取り組みで、子育て支援ができて



子どもは家庭も地域もパッと明るくする

問 出産祝い金に対する認識は

町長 県では人口自然減対策として、出産祝い金が検討されているが、子育て世代の町民は関心をもって見ていると聞く。晩婚化や金銭的な問題で、第3子以上のハードルが上がっている。色々な議論があるが、町長はどう考えるか。

町長 出産祝い金があることで、子どもを産む動機づけになるか確認は持てない。現金給付ではなく、今までの取り組みで、子育て支援ができて

問 水力発電の町の町長について

町長 長年にわたり良好な関係を維持してきた。今後も、定期的な情報交換会や課題に対する協議の場の設置など、信頼を基盤として良好な関係を築いていきたい。

問 水力発電の町の町長について

町長 長年にわたり良好な関係を維持してきた。今後も、定期的な情報交換会や課題に対する協議の場の設置など、信頼を基盤として良好な関係を築いていきたい。

問 水力発電の町の町長について

町長 長年にわたり良好な関係を維持してきた。今後も、定期的な情報交換会や課題に対する協議の場の設置など、信頼を基盤として良好な関係を築いていきたい。

問 水力発電の町の町長について

町長 長年にわたり良好な関係を維持してきた。今後も、定期的な情報交換会や課題に対する協議の場の設置など、信頼を基盤として良好な関係を築いていきたい。

委員会レポート

総文福祉常任委員会 委員長 草津 進

教育委員会・社会教育委員との懇談会

- ・とき 1月23日(木)
- ・場所 津南町役場 大会議室
- ・内容
 1. 平成26年度の主な事業
 - ① ジオパーク事業の達成
 - ② 保育と学校の同一組織化による子育ての一本化
 - ③ 3年目を迎える「育ネットつなぐ」の充実
 2. 課題

27年度統合予定の津南小学校校舎老朽化に伴う改修(津南の木材利用について予算づけが課題)
 3. 新年度の方針と主な取組
 - ① 出生から卒業まで一貫した子育てと家庭の支援
 - ② 中津川運動公園の昆虫など自然に配慮した雑草対策等管理
 - ③ 生涯学習班とTAPの連携や町民参加による活性化
 4. 小学校統合に向けて

来年4月に3つの小学校が統合同なる。今年1年間が大切な時であり子ども達の思い出つくりや子ども、保護者、後援会の交流を進める。「要支援教室」、「パソコン教室」の整備、体育館に近い「トイレ」の設置、クロカンスキーの「ワックスルーム」の確保など



中津小最後の入学式

いろいろな課題があるが一つ一つ改善してより良い学習環境を目指す。

5. 懇談を終えて
新年度より学校教育と現在福祉保健課の所管である保育園関連部署が統合せられ、一貫した子育て支援が行われる。
特に近年「発達障がい」の子どもや「未満児保育」が増えている中でこれらの対応がますます重要となってくる。新組織に期待したい。
また来年度の小学校統合が問題なくスムーズに行われるよう議会としても、フォローしていきたい。

産業建設常任委員会 委員長 大平 謙一

津南町農協、農業委員会 産業建設常任委員会との懇談会

- ・とき 1月27日(月)午後3時
- ・場所 役場 大会議室
- ・内容
 1. 新年度の方針

J Aからは、米や野菜のブランド力強化に継続して取り組む方針が示された。特に、新たにアスパラガスの選別機、結束機を導入し、生産者の労力軽減を図り、さらなる生産拡大を目指していくとのこと。
農業委員会からは、地域農業の実情を把握している組織としての的確に声を上げていくことや、米の生産コスト軽減対策を話し合っていくという方針が示された。
 2. 課題

討論の中で、次のような課題が浮き彫りになった。

 - ① 米の販売力の強化

J Aでは、全農を通さない独自販売では実績を上げていないものの、米の販売は苦戦している。どのように有利販売をしていくかが大きな課題である。
 - ② 津南産米の食味の向上

町で補助し数量拡大を目指している「津南町認証米」、北海道の「ゆめぴりか」、茨城県の「とねのめぐみ」との食べ比べ



各ブランド米の試食会

を行ったところ、食味に大きな違いを感じず、津南産米の努力が求められる現状がある。

③ 飼料米の転作作付の可能性
国が飼料米への助成を拡充し、主食用米の生産の一部を飼料米に置き換える方針を出したが、進めるかどうかを含め、どう対応していくのか、意見交換を行った。町内の生産体制は27年度から整うとのことだが、捌け先、スズメ被害など課題がある。

3. 懇談を終えて
ファミリーマートとの米の取引の予定について、小パック販売に加え、野菜の販売も話し合われているという情報があり、販促には明るい話題である。
今日、農業をとりまく情勢が変化の中で、光をみすえた対策が必要であり今後も情報交換を密にしていきたい。

町立津南病院との懇談会

- ・とき 2月13日(木)
- ・場所 町立津南病院会議室
- ・内容
 1. 新年度の事業

施設増改築ではエレベーター耐震改修工事や厨房棟の屋上防水工事を行う。医療関係では酸素マニホールドの増設工事、内視鏡の検査台等々、医師送迎車両からリハビリ器具まで多岐に渡っている。
また、医師、看護師等が不足していることや人口減少などの課題に対応するために、全国自治体病院協議会に病院の運営や経営についての診断をお願いする予定である。
 2. 現状と課題

院長、副院長が定年退職し、新院長がこれらが常勤の医師が一名減となり、常勤医師の負担が今後更に大きくなる。
看護師も高齢化と人員不足により夜勤等の負担が大きくなるため、看護師の確保がより一層重要となっている。
 3. 懇談を終えて

新院長の元、新体制でスタートするがまだ先は見えてこない。現在行っている「禁煙外来」や「延長外来」、「土曜診療」は町民にとっては有難い事であるが、人員不足



医師・看護師不足で負担大

の為、今後は縮小等も考えなければならぬ。病床についても手が回らなくなれば受入れを制限せざるを得ない状況も考えられる。

今後、看護師の勤務表作成ソフトなどを導入し、看護師の負担を軽減することや、就職ガイダンス等に参加し、津南町の良いところや魅力を情報発信することによって看護師の募集・確保に努めて行くとしているが、過疎地の中小病院においては医師不足・看護師不足は非常に厳しいものがあると感じた。議会として出来る限りの支援を行いたい。

議会事務局の担当がかわりました

よろしく
お願いします



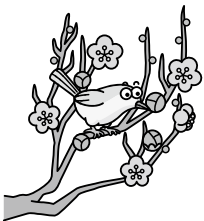
議会事務局 小林 武
(税務町民課から)

お世話に
なりました



滝沢直樹
(総務課へ)

このたびは議会事務局へ配属となり、気も、ふっくらした体も引き締まる思いであります。今後は議員の皆さまの活動をサポートできるよう、局長の命を受け、微力ながら任務に専心努力する所存でございます。
また、現在はスピードの時代。フットワークを軽くするにも、嗜んだスポーツで心身ともに鍛え直し、健康な体を取り戻せたいとも思っております。
新天地での重責ではあります。が、前任者と変わらぬご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



「光陰矢の如し」、文字どおり瞬く間の3年間でした。県境地震のあとに議会事務局へ異動し、緊張の議会定例会、インターネット中継の実施、東日本大震災被災地やジオパーク先進地視察など、様々な議会活動を議員各位と一緒することができ、記憶に残る貴重な3年間となりました。
今後の議会の更なる活性化のため、議員各位のご活躍を祈念いたします。
最後に、公私にわたって議員の皆様と事務局の皆さまには大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



町民登場 この人に会いました…

津南町地域おこし協力隊
平木 結さん
 (担当地域: 結束集落)



Q. どんな活動をしていますか？

1つは、結束でお年寄りに声をかけてまわったり、一緒にお茶を飲んだりして高齢者の見守りをしています。また、集落の行事や道普請を手伝って、結束について学んでいます。『けっとうしんぶん』やフェイスブックは、町外だけでなく、町内の方に結束を知ってもらいたくて書いています。最近では新しい活動として、結束集落から売り出せそうなものや観光ルートをどうしようかという話し合いを月1、2回しています。

Q. 津南に1年住んでみて感想は？

季節の移り変わりがはっきりしていますね。赴任した時はまだ桜は咲いていなかったのに、5月あたりから色々な花が咲いて、新緑が一気に広がり、夏になりました。秋の紅葉は短く感じましたし、雪の量にはやはり驚きました。

Q. 辛かった経験は？

かたくりの宿の渡邊さんとは顔見知りでしたが、最初は知り合いもいなくて寂しかった。今は、役場の方や十日町市の協力隊の友人もできたので大丈夫ですが。

Q. 食べることが好きと聞きましたが、津南の食はどうですか？

この水で炊いたお米はとても美味しいです。水は東京の水とは違います。実家に帰省してお風呂に入ったら肌が荒れてしまいましたが、こっちに戻ったら治まったんです。良い水なんだなと思いました。美味しい野菜もたくさんあって、夏に食べたトウモロコシは甘くて、味が濃かったです。

Q. これからの活動は？

集落の人たちが映画見たり、お茶をする場所を作りたいなど考えています。それから津南の食べ物で地域おこしをしたいです。

編集後記

今年の冬は積雪も少なく過ごしやすいかたではないでしょうか。でも2月には関東地方で観測史上初めての大雪となり、いまだ農作物の被害など被災された方々にお見舞い申し上げます。私たちは雪に慣れ日頃雪対策のありがたさを感じることも少なかつたのですが、今回はあらためて新潟県と津南町の除雪体制など、日夜ご苦労されている方に感謝したいと思います。さて平成26年第1回議会は予算審議もありましたが、「広報つなん」で数値的なことは詳しく掲載されますのでこの「議会だより」では町民の皆様に関係することを簡潔に記載いたしました。予算では多くの質疑があり、活発な議会となりました。



予算議案を審議する議場